

【開催】2007年7月3日(火)・4日(水)

QES2007

第15回

品質工学研究発表大会

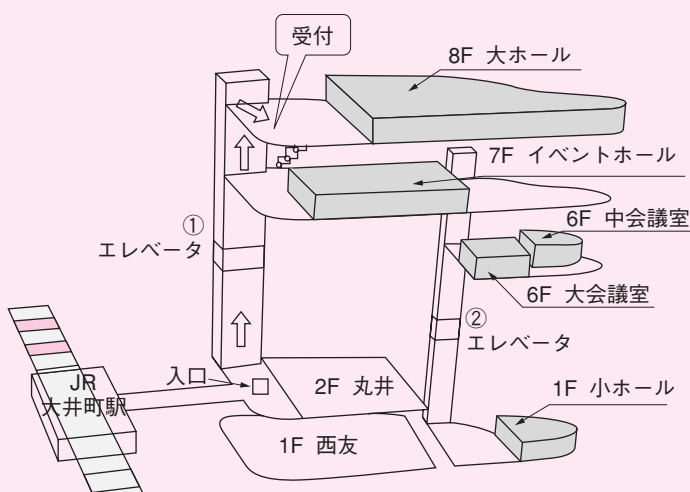
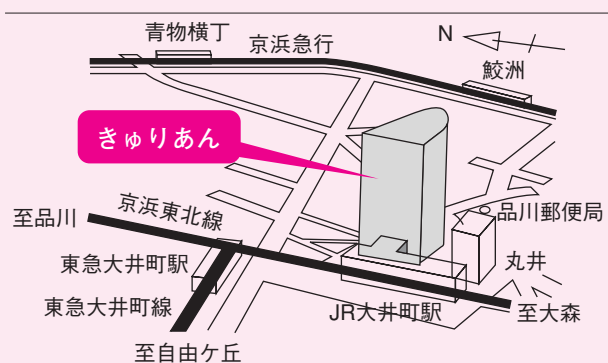
モノ・コトの見極めに革命を！
リコールゼロに挑戦する品質工学

大会会場 きゅりあん（品川区立総合区民会館）（大会受付8階）
懇親会場 きゅりあん大会議室（きゅりあん6階）
主催 品質工学会
協賛 (社)計測自動制御学会 (社)自動車技術会 (社)精密工学会 (財)先端加工機械技術振興協会
中部品質管理協会 (社)電気学会 日刊工業新聞社 日本画像学会 (社)日本機械学会 (財)日本規格協会
(社)日本合成樹脂技術協会 (社)日本設計工学会 (社)プラスチック成形加工学会

会場略図

発表大会受付／きゅりあん 8階大ホール入口
東京都品川区東大井5-18-1
懇親会場／きゅりあん 6階大会議室

交通のご案内／JR京浜東北線大井町駅下車 東口徒歩1分
東急大井町線大井町駅下車 徒歩2分
りんかい線大井町駅下車 徒歩3分



エレベータ① 1F小ホール 6F大・中会議室へは行けません
エレベータ② 8F大ホールへは行けません

研究発表大会へのお誘い

大会実行委員会

今、日本の社会は見かけの繁栄と社会的トラブルの狭間で苦しんでいます。なぜこのようなことが起こるのか。起こさないためには、何をなすべきか。

設立15周年を迎えた品質工学会の提案は「モノ・コトの見極めに革命を！-リコールゼロに挑戦する品質工学-」です。企業における不祥事、社会的トラブルによる火災、死亡事故によるリコール問題の原因は、信頼性設計および安全設計の欠如という設計の責任です。すなわち、市場におけるノイズに対する配慮がないこと、事故が起きたときの品質損失と安全コストのバランスを考えていないことが原因です。品質工学会は、社会的損失の最小化を図るために、「品質をよくしたければ品質を測るな。機能性を評価せよ。」の合言葉のもとで技術開発・製品設計を行うことを勧めてきました。「真のお客様主義」を実現するためには、ユーザーが満足する機能を実現するシステムを創造して、機

能性評価によるロバスト設計を行い、リコールゼロに挑戦するパラダイムシフト＝革命が必要だと考えています。経営者やマネージャーには時代に即した新しい研究テーマ採択による「革命」を、技術者には現状にとらわれない自由な発想でのシステム創造と機能性評価に挑戦する「革命」を期待しています。

今年の発表件数は過去最高の151件ですが、発表を通して、企業や研究機関の技術開発に取り組む姿勢や戦略を読みとってください。分野別の研究発表のほか、「MTシステムでの挑戦」と「学校での挑戦」の総合討論、田口玄一名誉会長に代わって矢野宏副会長の特別講演「戦略的技術者の行動プログラム-品質工学」にも期待してください。

会員はもちろん職場の皆様をお誘いのうえ、是非大会にお越しくださるよう、大会実行委員一同、心よりお待ちしております。

7月3日(火)

壇上発表：大ホール(きゅりあん8階) / 小ホール(きゅりあん1階)

MTシステムでの挑戦				
大ホール MTシステム① 10:30~12:10	1	不動産価格の推定による直交表を使った項目の評価	吉野 荘平	吉野不動産鑑定事務所
	2	ブランドイメージを活用した企業業績向上のための戦略的アプローチ	杓野 隆	コニカミノルタテクノロジーセンター(株)
	3	品質工学で企業文化の変化を探る研究	吉田ゆき子	アルパインプレシジョン(株)
	4	慢性肝炎と肝硬変の診断の単位空間の検討	中島 尚登	東京慈恵会医科大学
大ホール MTシステム② 13:15~14:55	5	個別音声への認識システム (RT法) の導入の研究	西川 朝章	セイコーエプソン(株)
	6	地震予測精度向上の研究 (1)	五味 伸之	群馬大学
	7	T法を用いた部品の外観検査に関する研究	田中 公明	トヨタ自動車(株)
		セッションのまとめ (14:30~14:55)	矢野 宏	(株)オーケン
加工技術への挑戦				
小ホール 加工技術① 10:30~12:10	8	プラズマ発光モニタリングを用いたドライエッチング処理条件の評価	守 浩志	新日本無線(株)
	9	薄板セラミックスの加工クラック抑制に対するサンドブラスト加工条件の最適化	松崎 広和	富士ゼロックス(株)
	10	コンピューターシミュレーションによる微粒子加工技術の開発	新谷 雄二	コニカミノルタサプライズ関西(株)
	11	超音波による薄膜フィルムの接合条件の最適化研究	板谷 旬展	パイオニア(株)
小ホール 加工技術② 13:15~14:55	12	射出成形による微細形状の転写性評価	山村 英記	(株)東海理化
	13	スピンドル塗装における塗装条件の最適化の研究	菅藤 智行	アルパインプレシジョン(株)
	14	プレス部品の初物外観品質向上への取り組み	酒井 明	マツダ(株)
	15	ダイカスト金型の穴加工条件の最適化	寶山 靖浩	リョービ(株)
大ホール 15:10~17:10	《来賓挨拶》 《表彰式》 貢献賞 《表彰式および受賞記念講演》 ・精密測定技術振興財団品質工学賞論文賞 金賞：MTシステムによる不動産価格の予測 (3) - 単位空間が 1データの場合のシュミットの直交展開を使用しない価格予測 - 銀賞：MT法を用いた新しい肝移植適応基準の作成の試み 銀賞：蒼朮の化学成分に基づく地理的変異の鑑別 (1) ~ (3) 銀賞：製造現場におけるオンライン品質管理工程図作成の試み 銀賞：MTシステムによる難治性肝疾患の評価 - MTA法による病態の診断 - ・ASI賞 冷却ファン形状の電力評価による最適化 MTシステムによる地震データの評価の研究 (1) ~ (2)		古谷 毅 経済産業省産業技術環境局審議官 (産業技術担当)	
			草間 三郎 品質工学会会長	吉野 荘平 吉野不動産鑑定事務所 中島 尚登 東京慈恵会医科大学 中井洋一郎 (株)ツムラ 秋山 幸示 アルパインプレシジョン(株) 中島 尚登 東京慈恵会医科大学 田口 伸 American Supplier Institute 田頭 康範 リョービ(株) 五味 伸之 東京電機大学

7月3日(火)

ポスター発表 展示時間 10:30~15:00 : イベントホール(きゅりあん7階)

A会場 加工技術③ OS・自由討論 10:30~12:15	16	切削加工の安定化の研究	佐藤 雅彦	アルパインプレシジョン(株)
	17	プリント基板切削用工具の開発	長尾 雅人	(株)東海理化
	18	高能率フェイスミル加工技術の開発	中山 亨	マツダ(株)
	19	中ぐり加工における工具振動低減に関する研究	福島 祥夫	群馬大学
	20	円盤状旋削 (プレーキロータ)における加工条件の最適化	藤本 正樹	ヨシワ工業(株)
A会場 加工技術④ OS・自由討論 13:15~15:00	21	コンピューターシミュレーションによる光学素子固定技術の開発	長岡 敦	コニカミノルタビジネステクノロジーズ(株)
	22	スポンジゴムの切断作業者の能力評価	荒井 亮平	日精樹脂工業(株)
	23	発表取り下げ		
	24	周期分析による噴流ラップ加工技術構築	高橋 大輔	アルパインプレシジョン(株)
	25	ラップ加工条件の最適化	永田 哲章	エプソントヨコム(株)
	26	摺動性評価の研究	和田 岳大	アルパインプレシジョン(株)
B会場 MTシステム③ OS・自由討論 10:30~12:15	27	医療用サポータの評価方法の研究	高野 真生	東京電機大学
	28	MTシステムによる血液凝集像判定方法の開発	澁谷 哲功	オリンパス(株)
	29	超音波ドブラ製品開発への応用 (第四報)	馬場 達明	東芝メディカルシステムズ(株)
	30	ギターの音の診断	竹内 和雄	セイコーインスツル(株)
	31	食品製造業における嗜好評価システムの開発	神生 直敏	北海道立工業試験場
B会場 MTシステム④ OS・自由討論 13:15~15:00	32	MTS手法と製造プロセスパラメータ最適化検討の変遷	金井 康充	(有)中六
	33	発想支援ソフトウェア「モアシス」へのT法の適用	萱場 智雄	宮城県産業技術総合センター
	34	MT法による過去データの解析	小笠原いく子	(株)秋田新電元
	35	明確な信号の無い場合のT法とMTS法の比較	牧野 和昭	日東電工(株)
	36	MT法項目診断に用いる混合系直交表の交互作用	佐藤 聡	積水エンジニアリング(株)

☆ OS (オーガナイズドセッション) : 各ポスターセッションにおいて、発表者より研究概要を説明します。(1テーマ 10分 : 発表5分、質疑5分)

☆自由討論 : 全 OS 終了後、発表者と参加者が自由に討論するものです。

☆懇親会 : 17:45 ~ 19:30、きゅりあん6階大会議室

モノ・コトの見極めに革命を！ーリコールゼロに挑戦する品質工学ー

7月3日(火)

ポスター発表 展示時間 10:30~15:00 : イベントホール(きゅりあん7階)

C会場 機能性評価① OS・自由討論 10:30~12:15	37	機能性評価による新製品認定-スベック評価からの脱却-	佐々木市郎	アルプス電気(株)
	38	発表取り下げ		
	39	刺繍ミシンの糸切り刃の機能性評価	川口 保彦	ブラザー工業(株)
	40	通信モジュールの機能性評価	佐野 正行	アルプス電気(株)
	41	2次元コードリーダの機能性評価による選定	楠本 剛史	アルパインプレジジョン(株)
	42	PCB基材の機能性評価	松崎 伸夫	アルプス電気(株)
C会場 材料系 OS・自由討論 13:15~15:00	43	光学部品用接着剤の開発	森 泰彦	東亜合成(株)
	44	ウレタン樹脂注入条件最適化	岩崎 安男	(株)岡部新電元
	45	鋳抜きピン設計基準の最適化~ダイカスト鋳抜きピン焼付き折損の撲滅~	小関 孝	マツダ(株)
	46	機能性ポリマー tantalum コンデンサ高耐圧品開発	高田 大輔	NECトーキン(株)
	47	厚肉鋳物の材質安定化	中山 英明	(株)アイメタルテクノロジー
	48	樹脂変色の評価方法に関する研究	松井 智隆	東亜合成(株)
D会場 機械系① OS・自由討論 10:30~12:15	49	プリント時に発生する紙カールの改善検討	荘所 義弘	村田機械(株)
	50	誘導加熱方式定着器の開発	加川 哲哉	コニカミノルタビジネステクノロジー(株)
	51	シミュレーションによる帯電器の最適化設計	勝川 雅人	富士ゼロックス(株)
	52	複写機手差しトレイ開閉機構における設計初期段階での品質工学適用	森田 洋平	富士ゼロックス(株)
	53	複写機電装BOX冷却システム最適化に関する研究	半澤 彰範	東北リコー(株)
D会場 機械系② OS・自由討論 13:15~15:00	54	トランスミッションギヤ動力伝達の電力による評価	竹島 宏明	(株)小松製作所
	55	ヘッジトリマの切削性能改善	橘 勇佑	リョービ(株)
	56	ワーク排出装置の振動低減	山口 陽平	(株)森精機製作所
	57	空圧システムの制御パラメータ最適化	山本 康	(株)いすゞ中央研究所
	58	樹脂製ボスへのネジ締結における形状最適化	海保 直人	アルパイン(株)
	59	振動センサの振動子構造最適化による感度改善	早坂 淳一	NECトーキン(株)

7月3日(火)

ポスター発表 展示時間 10:30~15:00 : 大会議室/中会議室(きゅりあん6階)

大会議室 教育・普及 OS・自由討論 10:30~12:35	60	品質工学導入教育教材へ水コプター-の提案(第2報)-評価方法の検討-	永山 文子	富山商船高等専門学校
	61	宮城県と宮城教育大学による「品質工学」の地域への普及活動	天本 義己	宮城県産業技術総合センター
	62	海外工場(フィリピン)における品質工学の展開	伊藤 篤也	(株)秋田新電元
	63	新入社員研修用実習教材の作成とその活用	島田 弘一	セイコーインスツル(株)
	64	NMS研究会における研究の意義(推進側からみた提案)	田村希志臣	NMS研究会
	65	企業におけるMTシステム教育の研究	中沢 和彦	アルプス電気(株)
	66	大企業・中小(地方・地元)企業の品質工学普及の問題点	森 輝雄	森技術士事務所
大会議室 ソフトウェア OS・自由討論 13:15~15:00	67	プラモデル用小型モータの最適化研究	増田 宗彦	富士フイルム(株)
	68	ソフトウェア開発における品質工学活用の研究	飯澤 尚文	アルプス電気(株)
	69	Windows Vista 評価の効率化	猪子 佳孝	ブラザー工業(株)
	70	電源変動に対するシステムの安定性評価への直交表適用	白木 信	アルパイン(株)
中会議室 オンラインQE OS・自由討論 10:30~12:15	71	モード遷移を考慮したソフトウェアの評価	鈴木 伸也	アルパイン(株)
	72	射出成形工程へのオンラインQE適用の研究	大川 満広	アルパインプレジジョン(株)
	73	オンライン品質工学と品質管理手法の融合の検討	廣岡 俊治	セイコーエプソン(株)
	74	新製品開発段階での管理方法最適化-仮想モデルでのオンラインQE-	上杉 一夫	アルプス電気(株)
	75	品質を良くするために製造と品質保証部が行うべき活動	畠山 鎮	セイコーエプソン(株)
	76	プレス部品加工工程へのオンライン品質工学の適用	秋山 幸示	アルパインプレジジョン(株)

●実行委員●

50音順(敬称略)

実行委員長/原 和彦 品質工学会副会長	実行委員/落合 誠 富士ゼロックス(株)	実行委員/若林 和美 アルプス電気(株)
幹事/高木 春記 キヤノン(株)	久納 和重 オリエンタルモーター(株)	渡辺 邦保 TDK(株)
事業部会/小池 昌義 (株)産業技術総合研究所	齋藤 大輔 セイコーエプソン(株)	地域委員/今泉 公夫 旭化成ケミカルズ(株)
坂本慎太郎 日本オプネクスト(株)	佐々木康夫 富士通(株)	金築 利旺 (株)あじかん
関 道子 (株)ニコン	白川 智久 セイコーエプソン(株)	佐々木 賢 (株)サン・アロイ
近岡 淳 (有)近岡技術経営研究所	平 誠士 富士ゼロックス(株)	中尾 誠仁 (株)ネオス
豊島 隆之 日本板硝子(株)	高野 慶介 アルパインプレジジョン(株)	平野 雅康 コニカミノルタオプト(株)
本橋 勝実 オリパス(株)	高松喜久雄 石川島播磨重工業(株)	事務局/中山みち子 品質工学会
実行委員/衛藤 洋仁 いすゞ自動車(株)	田中 創 三洋電機(株)	
大村 欽也 キヤノン(株)	豊田 美帆 コニカミノルタビジネステクノロジー(株)	
	三浦 進 日産自動車(株)	
	宮田 一智 ソニー(株)	
	森屋 芳洋 (株)リコー	

7月4日(水)

壇上発表：大ホール(きゅりあん8階) / 小ホール(きゅりあん1階)

大ホール 9:15~9:45		品質工学会総会		
学校での挑戦				
大ホール 学校での 研究とQE① 10:00~11:40	77	中ぐり加工における切削加工の最適化の研究	五味 伸之	群馬大学
	78	シミュレーションによる鍛造用金型の最適設計	星 道智	岩手大学
	79	縦型射出成形機のホッパー形状の最適化	櫻井 基樹	日本大学
	80	プラスチックマイクロ歯車を用いた小形減速機の高効率化	田嶋 祐紀	岩手大学
大ホール 学校での 研究とQE② 12:45~14:25	81	低密度・高剛性材料の最適配置による工作機械主軸系の高性能化に関する研究	上原 一剛	鳥取大学
	82	完全試作レスCAEシステムの構築	田辺 郁男	長岡技術科学大学
	83	ドリル折損予知装置に関する研究	千田 祐介	宮城教育大学
	84	耐フレッキング疲労皮膜のパラメータ設計	水谷淳之介	富山商船高等専門学校
機械系技術への挑戦				
小ホール 機械系③ 10:00~11:40	85	粉体搬送システムの設計条件の最適化	玉木 孝幸	(株)リコー
	86	印刷ラベル搬送の最適化	常松 薫	東北リコー(株)
	87	トランスミッション動力伝達のシミュレーションによる最適化	大野木博章	(株)小松製作所
	88	シミュレーションによる車載用アンブユニットの放熱設計	岩崎真知子	アルパイン(株)
小ホール 機械系④ 12:45~14:25	89	射出成形機における可塑性装置の設計条件の最適化	常田 聡	日精樹脂工業(株)
	90	アクチュエータ用シール性能の最適化	武井 嘉文	(株)いすゞ中央研究所
	91	エスカレータ手摺駆動装置のロバスト設計	春名 一志	三菱電機(株)
	92	シミュレーションを用いた歩行者頭部保護のための構造設計標準化	茂木 徹	日産自動車(株)
大ホール 14:50~15:50	《特別講演》『戦略的技術者の行動プログラム-品質工学』			矢野 宏 品質工学会副会長
大ホール 16:00~16:20	《表彰式》精密測定技術振興財団品質工学賞発表賞： 品質工学研究発表大会実行委員長賞：			草間 三郎 品質工学会会長 原 和彦 第15回大会実行委員長

7月4日(水)

ポスター発表 展示時間 10:00~14:30：イベントホール(きゅりあん7階)

A会場 加工技術⑤ OS・自由討論 10:00~11:45	93	ポアソン比分布による射出成形品の均一性評価	小宅 勝	群馬大学
	94	プラスチック成形品のスプル重量評価による成形の最適化	坂本 潤嗣	日精樹脂工業(株)
	95	H型形状を持つ成形品のシミュレーションによる成形条件の最適化	須田 高史	群馬産業技術センター
	96	射出成形シミュレーションによる実物再現性への研究	佐藤 清悟	アルパインプレジジョン(株)
	97	パッケージの反りの低減	竹之内耕平	新電元工業(株)
	98	射出成形による樹脂部品の密着性評価	西尾 淳也	(株)東海理化
A会場 加工技術⑥ OS・自由討論 12:45~14:30	99	円筒形状を持つ成形品の使用環境での変形に対する成形条件の最適化	須田 高史	群馬産業技術センター
	100	樹脂流動解析を活用した成形部品形状の最適化	三森 智之	アルプス電気(株)
	101	エンブラ製継手部品における材料選定および射出成形条件最適化	吉田 安孝	日立金属(株)
	102	粉末冶金における加圧成形に関する最適化	白石 真一	群馬大学
	103	金属光造形複合加工機の積層造形条件評価方法の効率化	天谷 浩一	(株)松浦機械製作所
	104	ニアネットシェイブ鋳造における冷却配管条件の最適化	福島 祥夫	群馬大学
B会場 MTシステム⑤ OS・自由討論 10:00~11:45	105	MTシステムによる完動検査の研究	菊地 富男	アルプス電気(株)
	106	MTシステムを用いた射出成形可塑性工程の診断	徐 世中	(株)山城精機製作所
	107	MTシステムを活用したインクリボン搬送品質確認手法	仲村 俊宏	東北リコー(株)
	108	共振周波数を利用するデバイスのMT法を用いた検査簡略化	和田 友宏	富士ゼロックス(株)
	109	マハラノビス距離を用いた調整	鐵見 太郎	村田機械(株)

モノ・コトの見極めに革命を！ーリコールゼロに挑戦する品質工学ー

7月4日(水)

ポスター発表 展示時間 10:00~14:30 : イベントホール (きゅりあん7階)

B会場 MTシステム⑥ OS・自由討論 12:45~14:30	110	MTシステムのパラメータ設計による仕様の決定	菊地 富男	アルプス電気(株)
	111	T法において相関を考慮する方法	鐵見 太郎	村田機械(株)
	112	RT法を用いた文字識別力向上に関する研究	森山 庄市	アルプス電気(株)
	113	マイクロメータの測定における人の測定能力の評価法	梅本 修平	東京電機大学
	114	Forecasting Consumer Satisfaction Using MTS and Vehicle Performance Attributes	Kenneth M. Ragsdell	University of Missouri-Rolla
C会場 機能性評価② OS・自由討論 10:00~11:55	115	設計品質向上活動(1) 機能性評価によるプリンタ製品の評価改革	畠山 鎮	セイコーエプソン(株)
	116	設計品質向上活動(2) コンシューマ用プリンタのASF評価	高田 圭	セイコーエプソン(株)
	117	設計品質向上活動(3) コンシューマ用プリンタのドット位置評価	並木 靖	セイコーエプソン(株)
	118	設計品質向上活動(4) コンシューマ用プリンタの色ばらつき評価	斉藤 誠	セイコーエプソン(株)
	119	設計品質向上活動(5) 業務用プリンタの機能性評価による能力確認	白川 智久	セイコーエプソン(株)
	120	設計品質向上活動(6) 業務用プリンタ機能性評価の確からしさの確認	齋藤 大輔	セイコーエプソン(株)
	121	設計品質向上活動(7) 機能性評価の業務展開と社会損失低減への挑戦	濱 晋	セイコーエプソン(株)
C会場 機能性評価③ OS・自由討論 12:45~14:30	122	開発構想段階での機能性評価を活用しての画像形成システムの開発	森 富也	東北リコー(株)
	123	機能性評価による電子写真転写システムの改善	落合 誠	富士ゼロックス(株)
	124	給紙装置の機能性評価	吉野 公男	東北リコー(株)
	125	孔版印刷機の画像寸法再現機能の評価方法の研究	植 英規	東北リコー(株)
	126	プリンタにおけるユーザビリティの機能性評価 Part2	坂本 信也	コニカミノルタビジネステクノロジーズ(株)
D会場 計測・制御 OS・自由討論 10:00~11:45	127	光ファイバーとプラスチックシンチレータで構成する放射線検出器の安定化	馬場 康雄	(株)堀場製作所
	128	レーザ変位計測定条件の最適化	梅野 芳広	アルプス電気(株)
	129	粒度分布計の機能性評価(第二報)	大内 宏伸	ソニー(株)
	130	誤差の評価による輝度センサーの定量的評価	林 和宏	(株)ナナオ
	131	漏洩磁束によるソレノイド推力計測技術の開発	山田 典好	新電元メカトロニクス(株)
	132	光ディスク サーボ制御へのパラメータ設計適用(2)	坂本 秀樹	アルパイン(株)
D会場 電気系 OS・自由討論 12:45~14:30	133	フォトカブラの機能性評価	中西 貴志	(株)ナナオ
	134	用紙重送検知システム最適化に関する研究	大石 卓弥	東北リコー(株)
	135	トイレ用赤外線センサのパラメータ設計	稲田 健志	TOTOウォッシュレットテクノ(株)
	136	ラベル搬送センサのロバスト化	照井 久友	東北リコー(株)
	137	高耐圧接合終端構造の設計検証	栗山 昌弘	新電元工業(株)
	138	CAE/シミュレーション最適化に対する田口提案の検証	池谷 善行	(株)小林製作所

7月4日(水)

ポスター発表 展示時間 10:00~14:30 : 大会議室/中会議室 (きゅりあん6階)

大会議室 経営とQE① OS・自由討論 10:00~11:45	139	NMS研究会における研究の意義 (マネジメント側からみた提案)	稲垣 雄史	東京大学ものづくり経営研究センター
	140	品質工学と統合型ものづくりシステムについて	立本 博文	東京大学ものづくり経営研究センター
	141	新製品開発から生産迄の全てのプロセスにQEビルドインを目指して	押野 源治	東北リコー(株)
	142	印刷機開発設計におけるQE活用	島 正行	東北リコー(株)
	143	品質工学をベースとした“一発完動”の新製品開発	新沼 明	アルプス電気(株)
大会議室 経営とQE② OS・自由討論 12:45~14:30	144	全体最適を目指すR&Dマネジメント	細川 哲夫	経営における品質工学研究委員会
	145	事業成長を支える品質工学と経営者の役割	三石 明生	セイコーエプソン(株)
	146	TDKにおける品質工学活用推進ー材料開発から電子部品開発へー	田中克比古	TDK(株)
	147	経営統合を力に、品質工学を技術戦略として活用	坂野 誠	コニカミノルタオプト(株)
セッションまとめ (14:00~14:30)				
中会議室 加工技術⑦ OS・自由討論 10:00~11:45	148	軟質厚膜フィルムの超音波接合工程の最適化研究	高松 寛史	ヤマハ(株)
	149	両面テープによるアルミ板接合最適化の研究	楠神 久人	森技術士事務所
	150	2液系エポキシ接着剤による黄銅板接合工程の最適化研究	木村 亮	アステラス製薬(株)
	151	ゴムシートと金属面の接着強度の最適化	小山 敦史	日精樹脂工業(株)
	152	電流・電圧特性によるはんだ付け評価における誤差因子の研究	楠本 剛史	アルパインプレジジョン(株)
	153	リフロー炉によるハンダ付け工程の安定化検討	荘所 義弘	村田機械(株)

☆OS (オーガナイズドセッション) ; 各ポスターセッションにおいて、発表者より研究概要を説明します。(1テーマ10分:発表5分、質疑5分)

☆自由討論: 全OS終了後、発表者と参加者が自由に討論するものです。

● 申込要領

申込方法

- 申込書該当欄に必要事項を記入の上、FAX、郵便またはホームページからお申込ください。ただし新規入会はHPからは申し込みません。
- 懇親会の参加は任意です。懇親会のみでの参加はできません。
申込先：品質工学会 事務局
〒107-8440 東京都港区赤坂4-1-24 日本規格協会ビル4F
TEL 03(3583)8234 FAX 03(3582)0698
URL <http://www.qes.gr.jp/>

参加費

- 正会員：10,000円 ● 学生会員：3,000円
- 非会員：20,000円 ● 学生非会員：6,500円
- 懇親会：6,000円（参加申込書参照）

支払方法

- 銀行振込の場合は、下記の口座に振込をお願いします。
みずほ銀行 青山支店 普通口座 1883944
口座名義：品質工学会（ヒンシツコウガクカイ）
- 銀行振込の場合は、個人名で請求書番号を記入のうえ、お振込下さい。
- 恐れ入りますが、振込手数料は貴殿でご負担下さい。
- 現金書留の場合は、申込書と参加費を同封のうえ、お送り下さい。
- 送金額は申込書を参照して下さい。
- 入金後、当日欠席の場合でも返金はいたしません。後日、申込者本人に論文集をお送りいたします。

品質工学会 会員募集中！
新規入会し、会員として大会参加

品質工学会では、品質工学に興味をお持ちの方、品質工学の色々な情報を知りたいという方々のために会員を募集しております。いま加入していただきますと、今年度の学会誌を入手できるとともに、研究発表大会に会員価格で参加できます。

会費

正会員／年額8,000円＋入会金2,000円
学生会員／年額3,000円＋入会金1,000円

お申込みお問い合わせは下記事務局までお願いします。

QES2007 第15回品質工学研究発表大会 参加申込書

本ページをコピーし、1人1枚に記入のうえ、FAXでご送付願います。

2007年 月 日

参加券・請求書の送付は参加者本人に限らせていただきます。

事前登録およびキャンセルは6月25日まで受付けます。それ以後は直接会場にお越し下さい。

● 会員の方は以下の欄にご記入ください。

(フリガナ) 氏名	殿	会員No.				
--------------	---	-------	--	--	--	--

品質工学会 事務局

〒107-8440 東京都港区赤坂4-1-24
日本規格協会ビル4F
TEL. 03(3583)8234 FAX. 03(3582)0698
URL. <http://www.qes.gr.jp/>

● 新規入会・非会員・協賛団体の個人会員の方は以下の欄にご記入下さい。

(フリガナ) 氏名	殿	該当するものに○	新規入会／非会員／	協賛団体個人会員
自宅	住所	〒		
	TEL/FAX	() / ()		
勤務先	社名			
	所属			
	住所	〒		
	TEL/FAX	() / ()		
送付先	勤務先 / 自宅 (希望する方を○で囲んでください。)			
※協賛団体名	個人会員番号			

		申込み方法			大会参加費	入会金 年会費	該当項目に ○	懇親会費	懇親会 参加	請求書の 分割	合計金額
		FAX	郵便	WEB							
一般	会員★	○	○	○	10,000円	2,000円 8,000円		6,000円	する	する	円 送金方法を○で囲んで下さい。 銀行振込・現金書留
	非会員	○	○	○	20,000円						
	新規入会☆	○	○	×	10,000円						
学生	会員★	○	○	○	3,000円	1,000円 3,000円			しない		
	非会員	○	○	○	6,500円						
	新規入会☆	○	○	×	3,000円						

★協賛団体（パンフレット参照）の個人会員を含みます。

協賛団体個人会員は会員扱いとしますので、団体名・会員番号（会員番号未記入は非会員扱い）をご記入ください。

☆新規入会は大会参加費とは別に入会金・年会費の請求書、振込み用紙を送付します。

正会員：10,000円（入会金2,000円＋年会費8,000円）学生会員4,000円（入会金1,000円＋年会費3,000円）

● 新規入会の方は以下の欄にご記入下さい。

会員の種類	(いずれかを○で囲んでください。)	正会員 / 学生会員 (年卒業)
推薦人氏名 (学生会員に限る)	会員番号	
専門分野		

※請求書、振り込み用紙を送付しますので、期日までに振り込みをお願いします。
※参加券、請求書及び領収書の送付先は、参加者本人に限らせていただきます。
※参加券は事前にお送りいたします。参加券送付のない場合には直接会場へお越しください。